

## 具体的な事故事例（概要）

### 1. 自分及び家族の具体的な事故事例（概要）

**【概観】** 屋内用折りたたみ椅子（大人用）で重篤な危害例（1件：下記）が発生していた。多くは、指を挟んだことにより皮がむけるなどの傷や出血、内出血、はれ等で終わっており、医療機関へ受診したケースは少なかった。回答者の年齢層は不明。

（重篤事例）	
<b>[屋内用折りたたみ椅子（大人用）][危害]</b>	
弟が4歳の時、自宅で小さな木の折りたたみ椅子で遊んでいたら、椅子が折りたたまり、指を挟み、中指の第一関節がぶら下がってしまい、救急車で病院に行き、指を縫って、もしかしたら切断しなければならないと先生に言われた。切断は免れたものの、今でも傷は残る。木の小さな椅子で、植木を載せたりと、よくある折りたたみ椅子。	

#### （1）折りたたみ椅子について

1. 屋内用折りたたみ椅子（子ども用ローチェア・ハイチェア）の隙間に指を挟んだ（挟みそうになった）	
<b>【危害事例】</b>	
娘が2歳の時、折りたたみのハイチェアを出すときに娘の指が折りたたみ部分にあったのを知らずに開こうとしてしまった。開きにくいので力を入れようとしたとき娘が「あーっ」と言ったので見て気が付きました。幸い内出血ですみましたが、気が付かずに力をいれていたらと思うと怖いです。	2歳
子ども用ハイチェアの高さを調節しようしたら、ずらす部分の隙間に指が挟まり、内出血した。そのハイチェアは木製で、高さ調節しようとすると、下部を足で立った状態で押さえないと動かしにくく、上部を持ち上げた時に若干の隙間ができてしまい。持ち方が悪いと、用意に指が入る隙間があるものだった。椅子には特に注意表示はなかった。	44歳
<b>【危険事例】</b>	
子どもが2歳の時、家族で夕食を食べるため木製のテーブルつき幼児イスを自分で準備していた。イスの後ろにあったテーブル部分を前に倒したときに、イスの肘あてとテーブルの結合部分に指を挟んだ。すぐに大人が助けてケガはなかった。木製の幼児用チェアで、接続部分のみ金属製。幼児用にしてはかなり重たいが、とくに保護するものはない。テーブルは取り外し可能。現在はテーブルを外し、イスだけで使用している。	2歳
息子（当時3歳）が自宅で食事後、折りたたみ式のチェアから無理に降りようとしたとき、食器を載せる棚部分が引っかかり脚部が運動してしまい指を挟んだ。棚部分は簡易的な取り付けになっているが、力のかかる方向に何があった。	3歳

#### 【危害】

- ・ 指あるいは手を挟んだ結果、危害内容は傷、出血、内出血、血豆、打撲傷、爪割れなど。
- ・ 挟んだ部分は、椅子の構造の違いや回答中に説明が無いなどから、ロック機構の有無も含め明確ではない。
- ・ 怪我をした当事者は1歳～5歳までの子供が最多であるが、20歳代から40歳代の子育て中と思われる大人が、子供用チェアで指を挟むなどして軽い怪我をしているケースが意外と多いことが特徴的（図2-3参照）。
- ・ 指を挟み、あわてて子供が騒いだことにより椅子が転倒し、「歯が舌に刺さり救急車で運ばれ、舌を3針縫うことになった（2歳）」「こぶができる（1歳）」という副次的な危害例もある。

#### 【危険、ひやり・ハッとする】

- ・ 子供が成長するとともに行動的になり、椅子に自分で登る、付属のテーブルを自分で動かす、折りたたみ椅子を自分で開閉したりなどするようになり、危険、ひやり・ハッとの事例は増加。
- ・ 指挟みだけでなく、手全体が隙間にに入る、背もたれとの隙間に足や頭を挟むなども発生。
- ・ 危害ほどの事例数ではないが、大人が当事者であるケースも無視できない数である（図2-4,5参照）。

2. 屋内用折りたたみ椅子(子ども用ローチェア・ハイチェア以外)の隙間に指を挟んだ(挟みそうになった)	
<b>【危害事例】</b> 長女が(多分)5歳くらいのとき、ヴァイオリンのレッスンのときに、室内においてある折りたたみ椅子(パイプ製)に座って待っていたがちょっと重心が狂って椅子がたたんだ状態のようになり、親指を挟んでしまった。座っていたので体重がかかってしまい、指がかなりつぶれてしまった。すぐに病院へ行ったが、運良く骨には異常がなかった。	5歳
娘が10歳の時、休日の昼間、公民館の会議室の片付け時に、パイプ椅子を片付けようと、たたんで専用台車に積み重ねているときに、たたんだ椅子を積み重ねているときに、再び開いてしまい、置きながらたたもうとしたみたいで、その時指を挟んで、すこし内出血した。	10歳
息子が今年の6月の運動会で係の仕事で折りたたみパイプ椅子に座ろうとして座面の後方に手をついたとき、急に椅子が閉じてしまい指を挟んでケガをした。折りたたみ椅子は、金属パイプでできていて、ロック機構や保護クッションなどもない。たたむとパイプが完全に閉じてしまう。	11歳
<b>【危険事例】</b> 会議室のパイプいすは、子どもが奥まで腰をかけると、いすがたたまれてしまい、お尻を中心に身体がはさまれ倒れることがよくあった。	2歳
長女、次女、共に3歳頃、休日の夕食時に自宅で食事中、両親が目を離したときに折りたたみ椅子にのってふざけていたところ、椅子が閉じて、いすの隙間に手が挟まつた。木製の折りたたみ椅子で、ロックや保護材等はなく、たたむと完全に閉じる構造である。	3歳
私が高いところのものを折りたたみ椅子に乗つて取ろうとして、作業していくところ、不安定だったので子どもか支えてくれたが、その際、座席面と支柱面の間に手をいれていたため、手を挟まれそうになった。	9歳
自分が30歳の時、お友達が遊びに来てイスが足りなかつたので出して片付けようしたら、なかなか固くて閉じなくて力を入れすぎて手の肉を少しだけ挟みました。	30歳
<b>【ひやり・ハッと事例】</b> 私が、金属製のパイプいすに座ったとき、ちゃんと開いていなかつた様で椅子が、座つたとたんにガッタと動き、ちょうど手がその隙間にちかくにあって、指を挟みそうになつたが、怪我はしなかつた。	44歳
子どもが4、5歳の頃、折りたたみのパイプ椅子にすわつてお尻を載せる部分をつかむようにしながら、カラダを揺らしたため、パイプと座る部分との間に指を挟みそうになつた。	4歳
私(女性、38歳)が自宅でパソコンをしようと折りたたみ式の椅子に座りかけたところ座り方が浅く、椅子がたたまれそうになり慌てて体制を直そうと座面に手を置いて座つたら、座面とパイプの間に指が挟まれそうになりました。※座面と背もたれが木でできている折りたたみ椅子です。	38歳

#### [危害]

- 大人も子供と同数近い事例があり、指を挟んだ事例が主で、危害内容は切り傷、出血、内出血、血豆等。
- 子供も大人も、いずれも自宅だけでなく幼稚園、学校等の体育館、公民館などで発生しているほか、大人は勤務先の会議室の椅子に指を挟んでいる。

#### [危険、ひやり・ハッと]

- 危険事例では子供よりも大人の事例のほうが多い(図2-4,5参照)。
- 指あるいは手を挟んだり挟みそうになった事例が主だが、大人は踏み台に使つたことによる危険、ひやり・ハッと事例も4例あり。
- 危害と同様に子供も大人も、いずれも自宅だけでなく幼稚園、学校等の体育館や運動場、公民館などで発生しているほか、大人は行事の準備として椅子を並べる際や勤務先の会議室準備で、危険、ひやり・ハッとを経験している。

3. 屋外用折りたたみ椅子(デッキチェア、アウトドア用など)の隙間に指を挟んだ(挟みそうになった)	
<b>【危害事例】</b> バーベキューの後使用した屋外用折りたたみ椅子を閉じようとしたところ、思ったより硬く勢いをつけて力を入れたところ指の皮を挟んでしまい、内出血した。金属製パイプ。ロック装置なし。	10歳

<b>【危険事例】</b> 自宅の前で、友人とバーベキューをしていたとき、少しあまりかかった椅子をきちんと開こうとしてパイプの間に指を挟んでしまった。切れるまでは指を切ることは無かったが赤くなり少しの間、痛みが続いた。	44 歳
<b>【ひやり・ハッと事例】</b> 休日にベランダにある折りたたみ式デッキチェアをたたもうとしたとき、たたみ方がわからず、あれこれいじつたら、急に閉じ思わず指を挟みそうになりました。	44 歳

[危害]

- 子供よりも大人の危害事例が多く、倍以上である。
- 子供も大人も指を挟んだ事例が主で、危害内容は切り傷、出血、内出血、血豆等。

[危険、ひやり・ハッと]

- 子供と大人とほぼ同数の事例数である（図2-4,5参照）。
- 指あるいは手を挟んだり挟みそうになった事例が主だが、當時使用していない不慣れな椅子であることや、構造が特殊であったりロック機構などから、危険を感じていたことも伺える。

## (2) 折りたたみ椅子以外の折りたたみ製品について

### 4. 屋内用折りたたみテーブル(家庭用、会議用など)の隙間に指を挟んだ(挟みそうになった)

<b>【危険事例】</b> 娘が小学校1、2年生のとき、学校の体育館で、放課後、PTAの講演会の準備をしていたとき、大人たちの作業を真似して手伝おうとした娘が、折りたたみ式の真ん中の部分を開こうとして、指を挟み、内出血した。その机は、会議室などによくある、真ん中で折りたたんで収納できるようになってて、開くときに真ん中に手を挟みやすい形のものだった。	7 歳
娘が夜自宅で使っていた折り畳みテーブルをしまおうとして、急にパタンと閉まって間に指を挟んだ。木製に金属のパイプの足がクロスしててクロスして足が重なると同時に板の部分がパタンと下りて重なりました。急だったので指を挟んでしました。	11 歳
10年ほど前、会社で会議室のテーブルをたたもうとしたとき、硬くてなかなかたためなかつたので力をこめたとき、いきなりばたんとしまって指を挟み、内出血してしまった。	28 歳
<b>【危険事例】</b> 子どもの幼稚園の母の会の集まりで地域センターの部屋を借りた時に、折りたたみ式の長机をたたむ際にたたみ方がわからずガチャガチャやっていたら、急にバチンと閉じた。とっさに手を離したので怪我はしなかつたがヒヤリとした。長机は天板が木製で、金属製の脚がついているもの。脚を押しただけではたたまず、脚と脚をつなぐ横棒（？）を押してたたむものだった。説明書きなどが一切なく、他の人たちも何度かガチャガチャとやってみて、やり方に気づいたようだった。	31 歳
当時、32歳、女性。屋内用の会議用のテーブルの足を出そうとしたら、足と周辺の金属製のパイプの隙間に指を挟んだ。その時は痛かったが、けがはしなかった。いわゆるごく普通の会議用のテーブルで、金属製の足に木製の細長い台がついたもの。場所は地域の公民館で、午前11時ごろ、子どもの通う幼稚園の保護者による昼食会の準備をしている最中だったため、人は2、3人。それぞれ準備に忙しかったので、他の人は見ていなかつたし、気づかなかつたと思う。テーブルの裏に、指挟みに注意、というような注意書きがあったような気もするが…。	32 歳
小学校の行事のお手伝いをしていて会議用の長テーブルの足のたたみ方がよくわからず、力を入れたとき、ロックがうまくはずれて勢いよく足が折りたたまれたので指を挟んだ。ちょうど1センチくらいの隙間になる部分だったので怪我はなかつた。	38 歳
<b>【ひやり・ハッと事例】</b> OLのときに一度ありました。会議の後テーブルをたたもうとしたとき、なかなかたためず、つい色々な場所を持ってしまいました。それまでなかなかたためなかつたのに、急にばたんとたためたため、手を挟みそうになつてしましました。そのテーブルは金属のパイプで出来ていて、大抵どこにでもある細長いテーブルでした。	24 歳
会議に使う折りたたみの長いテーブルで、ロックが硬くてなかなかたためず、力いっぱいロックをはずしたときに、勢いあまって指を挟みそうになつた。	29 歳
子どもの学校のPTAの会議が終了し、後片付けの際に、いくつかの折りたたみテーブルを運ぶ時のことでした。大人でしたので、折りたたむ際はかなり気をつけていたつもりでしたが、他の方とお話ししながら行つていて、もう少しで指を挟むところでした。これが子どもだったら…と思うと、かなりひやつしました。	38 歳

「危害」〔危険、ひやり・ハッピ〕とともに、屋内用折りたたみテーブルに接する機会が多い、当事者が大人の事例が、圧倒的に多い（図2-2, 3, 4参照）。

〔危害〕

- 勤務先の会議室だけでなく、貸し会議室、公民館、幼稚園、学校等において行事等の際に使用するためには不慣れなテーブルであることが多く、テーブル部分や脚部の開閉機構の多様化、ストッパーの有無、新旧製品の混在などにより、危険性を予測しつつ注意して作業をしていても、指を挟むことを主に、切り傷、出血、内出血、血豆等の危害が発生している。
- テーブル自体への取扱説明や注意表示、施設管理者からの注意が無いなどの指摘も多い。

〔危険、ひやり・ハッピ〕

- 「危害」と同様の状況であり、危害には至らなかつたが怖い思いをしたという事例が多い。

5. 屋外用折りたたみテーブル(アウトドア用など)の隙間に指を挟んだ(挟みそうになった)	
【危害事例】	29歳
友人と数家族でキャンプをしに行った際、バーベキューの準備をしていて、私がアウトドア用のテーブルを組み立て、その上で食材などの準備をしようとしていた。テーブルの脚のうち一つがちゃんと開ききっていなかつたせいでテーブルが崩れ、それを防ごうとしたらテーブルの脚の隙間に人差し指を挟み、内出血してしまつた。爪も死んでしまい、治るまでに数か月かかった。	
大人の女性3, 4人で、アウトドア用のテーブルを片付けようとしていたときにたたみ方が分からず試行錯誤しているうちに急にテーブルが折れ(しまえる様になり)、一人の女性の指が挟まってしまった。アルミ製のアウトドアで使われるよくあるタイプのテーブル。	35歳
【危険事例】	10歳
川原でのバーベキューを終えて片付けの時、当時10歳の娘が折りたたみ式のテーブル、椅子が一体のものをたたんでいる最中に強風が吹き、その力で一気にたたまつてしまい手を抜くまもなく挟まれてしまった。材質が軽いと挟まれた場所が支点から遠い場所だったのでちょっと赤くなつただけで怪我には至らなかつた。材質はアルミニウムとプラスチック。	
【ひやり・ハッピ事例】	40歳
子どもの運動会を観戦し終え、アウトドア用の折りたたみミニテーブルを片付けているときに、足とテーブルの間のヒンジに指を挟みそうになった。注意書きにも記載されていたので気を付けていたつもりだったが、指を挟みそうになり、ヒヤッとした。	

- 「危害」〔危険、ひやり・ハッピ〕とともに、セッティングや片付けを行うことが多いためか、当事者が大人の事例が、圧倒的に多い（図2-2, 3, 4参照）。
- 材質・構造・折りたたみ機構・ストッパーの多様性、使用頻度などから、注意して使用しても発生、怖い思いをしたとか、また、安全対策や組み立てによる安定性や注意表示の不足を指摘する事例もある。
- いずれも指あるいは手を挟んだ、はさみそうになった事例が主。
- 〔危害〕の内容は切り傷、出血、内出血、血豆等。
- 〔危険、ひやり・ハッピ〕では、危ないと思つたむことを中止したので怪我をしなかつたが、注意しなかつたら指が切断されていたかもしれないという事例もあった。

6. 屋内用折りたたみベッド(パイプ式ベッドなど)の隙間に指を挟んだ(挟みそうになった)	
【危害事例】	34歳
私が34歳のとき、朝10時ごろ自宅のリビングで一人で掃除をしようとアメリカで購入した簡易式折りたたみベッド(15000円位、ブランド不明)をたたもうすると、パイプの折りたたみ部分に右手の人差し指を少し挟んでしまつた。少し血豆のようになつてしまつた。	
【危険事例】	28歳
私自身が20代後半頃、自宅和室で、スノコ折り畳みベッドを一人で開いていて、開き終わったときに二つに折り曲がるところに指を軽く挟んだ。大事には至つていない。購入先は〇〇〇。価格は忘れました。	
【ひやり・ハッピ事例】	38歳
子どもの折りたたみベッドを収納していて、持つところを間違えて、ちょうど金具のところに指を掛けてしまい、もう少しで挟むところだった。ゆっくりたたんでいたので気がついてよかったです。	

- ・ [危害] [危険、ひやり・ハッと] ともに事例は多くはなく、ほとんど大人が当事者の事例で、開くとき、閉じるとき、移動するときなどに発生している。
- ・ いずれも指あるいは手を挟んだ、挟みそうになった事例が主。
- ・ 対象外のベビーベッドについて、柵の急な落下等で子供が指を挟んだ、挟みそうになったという事例も寄せられている。

## 7. 屋外用折りたたみベッド(アウトドア用など)の隙間に指を挟んだ(挟みそうになった)

### 【危険事例】

私が 40 歳の時に、庭のプラスチック製のデッキチェアベッドの背もたれ部分の角度を調整していて、手が挟まりかけた。側に夫がいたので、大声を出したら引っ張ってくれたので、手は挟まりっぱなしにはならなかつた。	40 歳
--	------

3 事例が寄せられているが、具体的な記述があるのは「危険」の 1 例（プラスチック製デッキチェア）のみ。

## 8. 折りたたみ式踏み台(脚立)の隙間に指を挟んだ(挟みそうになった)

### 【危険事例】

私(女)が36歳の時、引越して脚立を使ってタンスの上の荷物を下ろしている際、脚立をたたもうとしたところ、指を開閉する蝶番？の部分に挟んだ。血豆ができるが病院へ行くほどではなかった。小型アルミ製、ディスクカウントストア等で購入した2000円ぐらいの商品。メーカー不明。	36 歳
---	------

### 【危険事例】

息子が5歳のとき、昼間食事の準備中、お皿をとってもおうと息子に言って脚立を広げようとしたとき、指を挟みそうになったが、私が気づいてけがはしなかった。金属製で、広げるところの部分は子どもの指が挟まるくらいの隙間があった。	5 歳
---	-----

### 【ひやり・ハッと事例】

小学生の息子が折りたたみ式脚立をたたもうとしたとき、勢いよくたたもうとしたため、指を挟みそうになった。運良くけがはなかったが、ひやりとした。過去に事故があつたことを後で知り、親として反省しました。	11 歳
--	------

### [危害]

- ・ 使用するのが大人であることから、子供が当事者は 2 歳児の事例のみで、他は全て当事者が大人であり、自宅や勤務先で発生。
- ・ 留め金が何かの弾みで外れたとか、開閉時の勢いが原因など、ロック装置や保護カバー、保護クッションは付いていたもの、付いていないもの、不明など様々。
- ・ 指を挟んだことにより、出血、内出血、血豆のほか、打撲で受診、骨にひび、大怪我（内容不明）等の事例がある。

### [危険、ひやり・ハッと]

- ・ 使用する頻度の高い当事者が大人の事例が多く、開閉の際に様々な要因（開閉機構、ロック装置、開閉の固さ、ストッパー、旧式かどうかなど）で、急な、勢いのある開閉となつたなどにより発生している。
- ・ 大人の事例よりは少ないが、自分で開閉できる年齢になった子供（2 歳～11 歳）が開閉や組み立ての際、あるいは遊んでいて、指を挟んだが怪我はしなかった、指を挟みそうになったなどもある。
- ・ 保護カバーや注意表示がなかったことを指摘した事例もある。

## 9. 折りたたみ式ベビーフェンス・ベビーゲートの隙間に指を挟んだ(挟みそうになった)

### 【危険事例】

階段下に設置していたベビーフェンスそのものに子どもが興味を持ち、片方の手で指を差込みもう片方の手でフェンスを左右に揺らしてしまい指を挟み少し内出血してしまった。	2 歳
--	-----

### 【危険事例】

息子が2歳ごろ階段につけていた子どもガードに指をかけているのを知らず、ガードを開けるため縮めてしまった。跡がくっきり残るほど挟んでしまった。そのガードは蛇腹のように伸び縮みして通せんぼする物で、木	2 歳
--	-----

で出来ている。	
<b>【ひやり・ハッピ事例】</b> 息子がまだ幼稚園に上がる前の頃、2階階段口に転落防止用に取り付けた木製ベビーフェンスを閉じようとしたところ、息子が不意に手を出したため、隙間に挟み込みそうになったが、閉じるのを止めたために怪我はなかった。	3歳

## [危害]

- ・ 子供が指や手を挟んだ事例のほか、大人が指を挟んだ事例も複数。
  - ・ ベビーゲートの隙間に手足をいたままひっくり返って、関節脱臼したと言う事例（1歳）もある。

[危険、ひやり・ハッと]

- ・ ゲートの開閉の勢いで挟まれそうになった、自然に閉じたので果てを挟んでしまった、子供が面白がって柵に手を入れるなど様々な状況で発生、大人が手を挟みそうになった事例もある。

#### 10. 折りたたみ式ベビーカーの隙間に指を挟んだ(挟みそうになった)

【危害事例】

娘が2歳の時、休日の昼3時頃、電車に乘ろうとしてベビーカーを持ち上げたら、ベビーカーの開閉のストッパーが外れて、ベビーカーが半分閉じた形になり、座っていた娘の腕を挟んでしまい、軽い切り傷ができてしまった。そのベビーカーはプラスティックと金属製の両方のパイプででき正在、開閉のロック装置はついているが、ロック部分は簡単に開閉にすらすことができ、ロック部の持ち手をグッと握るとベビーカーが閉じるようになっている。駅の階段でベビーカーを担いでいる私を見て、みかねて通りがかりの男性がかついでくれたのだが、そのときにおきた。

2歳

【危險事例】

1 歲

### 【ひやり・ハッピ事例】

【ストラーダ子供】 子どもを抱っこしたままで、たたもうとしたところ、なかなかうまくいかず、無理矢理たたもうとしたときに、パイプ間に手を挟みそうになった。

34 歲

[危害]

- ・大人と子供と同数近い事例があり、指挟みが主。
  - ・危害内容はすりむき、出血、内出血など。
  - ・軽易なベビーバギーから重量のあるベビーカーまで多様なタイプ、様々な開閉機構・安全機能、中古品の利用などにより、使う親の側にも危害が多数発生しているのが特徴的。

### 「危険」(ひやり・ハット)

- ・ 子供の事例のほうがはるかに多いものの、大人でも相当な事例があり、指挟みの例が多い。
  - ・ 親の状況は「危害」と同様の状況

11 その他

## 【危害事例】

**【危害事例】**  
私が小学生くらいのときに、アイロン台の脚をだそうとして、指の親指と人差し指の付け根を挟み、血が出た記憶がある

10 歲

### 【各险事例】

**【危険事例】**  
娘が1歳の時、平日の夜、ベビーベッド内に立っていて、下に降りたがっていたので、格子を下げていたら、娘が手を格子に入れて、挟まりそうになった。ゆっくり下ろしていたので、気がついたときに止めることができた。その木製のベビーベッドは、台が床下50cmくらいで、下には収納スペースがあり、床から台の上60cmくらいまで、格子で覆われている。台の上の格子片面が両側ストッパーで止めてあり、ストッパーを両手で押したままで上げ下ろしできるようになっている。(スライドで上下する)(子ども一人では両方届かないため、上げ下ろしきれない)

1

**【ひやり・ハッピ事例】**

私(女)が35歳のころ、平日の午後自宅で、折りたたみ自転車をたたもうとして指を挟みそうになった。  
説明書を見ずに、説明してもらったのを思い出しながらたたもうとして起きた。

35歳

**[危害]**

- ドアの隙間・金具・ヒンジ等、クローゼットの折りたたみ式ドア、折りたたみアイロン台、組み立て式ジャングルジム、ベビーカーの安全ベルト等についての事例が寄せられている。

**[危険、ひやり・ハッピ]**

- 「[危害]」と同様の商品のほか電車の扉、自転車などの例が寄せられている。

## 2. 自分の身の周りの人の具体的な事故事例（概要）

本人又は同居の家族以外の身の周りの人に起った折りたたみ製品が関係する事故について、自由記述で回答を求めたところ、67件の事故事例の回答があり、その内訳は、折りたたみ椅子によるものが46件と最も多く、次いで折りたたみテーブル8件、折りたたみベッド4件、ベビーカー9件であった。

**① 折りたたみパイプ椅子（46件）****a 子どもが可動部に指を挟むことが多い（43件）**

- 子どもが折りたたみパイプ椅子のパイプ部分等で指を挟むことが多い。（19件）
- 子どもが折りたたみパイプ椅子に乗って歯磨きをしたり、高所で作業をしたり、普通に座ろうとしただけでもバランスがくずれ椅子がたおれたり、折りたたまれ、挟まれることが多い。（24件）

**b 安価な椅子は強度が弱い。（2件）**

- 安価な椅子は止める部分が弱く、何度も開閉しているうちにネジが曲がって折れたり、折りたたみ部分が折れたりした。

**c 立てかけて倒れる危険性がある（1件）**

- 立てかけておくと倒れる危険を感じるので買わないようにしている。パイプのカットされている部分が雑で怪我をしそうなものが売ってあったのが不思議でならない。

**② 折りたたみテーブル（8件）****a 開閉時に指を挟むことが多い（6件）**

- 会議室テーブルやアウトドア用テーブルの開閉の際に指を挟むことが多い。

**b ロックが不十分な状態での指挟みがある（2件）**

- 脚の部分が開き切っておらず、ロックが不十分なため脚に手を挟んだ。

**③ 折りたたみベッド等（4件）****a ベビーベッドの柵に手を挟む（2件）**

- ベビーベッドの柵に手を挟みそうになり、柵から落ちた。

**b サマーベッドが折りたたまれた（1件）**

- サマーベットで子どもがふざけていて折りたたんでしまい、すぐには出られなくなった。

**c 米国にて折りたたみベッドで窒息死（1件）**

- 折りたたみ式ベッドで窒息死（これはアメリカの記事でしたが）と言う悲しいニュースを読んだことがある。安全装置が故障のため、子どもが遊んでいるときにベッドが自動的に折りたたまれたと言う記事でした。

**④ ベビーカー（9件）****a 折りたたみ時に指を挟む（9件）**

- ベビーカーを折りたたもうとする際に指を挟むケースが多い。